《第115回》令和五年一月の作品

〈一月十三日（金）於・文京区民センター３Ｅ〉

元旦や半月の白空の青　（貴美）

時刻む音のみ聞こゆ冬銀河　（芙紗）

ほつほつと梅咲き初むる小石川　（一江）

孫達が餅好きになる親の里　（前歩）

初詣鎮守の杜の楠太し　（正佳）

けあらしの気仙沼より鮮魚来る　（孝昭）

黎明や親子三代初詣　（隆治）

ラデツキー曲に手拍子ニューイヤー　（正雄）

成人の孫を囲みて家族写真　（平六）

双子座流星群

またひとつ冬空に消ゆ流れ星　（奉男）

冬木立行けば湯治の宿明り　（清助）